

今日から生き生き漢方家族!

たいせい堂薬局



漢方薬を体質に合わせて
オーダーメイドでお作りします

漢方薬・煎じ薬のたいせい堂薬局は「処方せんによる調剤」「一般おくすり」「自家製剤(漢方薬など)」とバラエティー豊富な薬局です。「アレルギー性の疾患」「婦人科疾患」を中心に漢方・健康相談を行っています。

当薬局では漢方薬の値段は1日分450円～500円(子どもは300円～350円)です。3人の薬剤師が漢方相談致します。何でも気軽にご相談下さい。



東広島市西条中央

三丁目5-5

営/9:00～19:00

休/日曜・祝日

【漢方相談・要予約】

Tel.082-423-1010

<http://www.taiseidou.com/>

【たいせい堂薬草店】

広島市佐伯区楽々園一丁目4番1号

営/9:00～19:00 休/日曜・祝日

【漢方相談・要予約】

Tel.082-921-6666

【おきなわ うみ薬局】

沖縄県中頭郡西原町小橋川154-4

Tel.098-944-4567

【たいせい堂 首里店】

沖縄県那覇市首里石嶺町2-1

Tel.098-882-1414



胃腸の疲れ、冷え、ストレスによって

花粉症を引き起こしたり、悪化させてしまうのです。

これらを改善すれば、花粉症は改善できるものなのです。



乾燥型



過剰な暖房、大量発汗などで身体に必要な水分が不足して、目、鼻、のどの粘膜が乾燥する。

ストレス型



ストレスなど、頭を使いすぎて、頭痛、肩こり、鼻とのどの痒みが起こる。

冷え性型



身体が冷えて、水のような鼻水、鼻づまり、目の痒みが起こる。

胃腸弱り型



水分の摂りすぎや食べすぎで胃が冷えてしまい、胃もたれ、鼻水、目の痒みが起こる。

まだまだ寒い2月ですが春はもうそこまで来ています。そこで気になるのが花粉症ですよね。花粉症は花粉が諸悪の根源だと思われがちですが、漢方では主な原因は体の内部にあると考えられています。今年こそ花粉に負けない強い体を作りましょう。

春になると起こる花粉症

東洋医学を学ぼう!

対処法

冬は種が春に元気な芽を出すためにエネルギーを蓄える時期です。人間の身体も同じで、冬の間は食事の量と活動量を減らしてエネルギーを蓄えるべきなのです。

春の花粉症は花粉自体が悪いのではなく、冬の不摂生による“のぼせ”が原因です。毎日の規則正しい生活を心がけ、漢方で体調を整えることでのぼせることがなくなれば、花粉症は治すことが出来るものなのです。



Vol.8